

一ノ木戸小学校 学校だより 令和3年9月24日第10号



ひびき

一ノ木戸ポプラ学園

めざす子ども像

◆ゆたかなかわりを求めて
夢や希望をもち
未来をひらく子ども

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して・・・「生きる力」を育む
～学び続ける 私たちの 校内授業研修～

校長 渡邊 芳久



先日、2年1組の算数科の授業を校内外の教員に公開しました。校外への公開は、新型コロナウイルス禍もあり、ICTを活用しての参観者限定生配信で行いました。授業後には、校外からの参加者はICTによる遠隔参加（左写真：スクリーン画面に遠隔参加者がいます）での授業協議会を実施しました。

このような校内授業研修は通年で行っていますが、2学期は特に回数が多く、私たちにとっては、学びの秋です。授業研修を進める大きなねらいは、標題にあるとおり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、子どもたちに「生きる力」を育てていくことです。この「生きる力」の育成は、学校の全ての教育活動を展開していく中で育まれるものです。決して、授業時間の中だけで育まれるものではありませんが、いわゆる学習の中では、次の事項の実現を目指しています。（小学校学習指導要領の総則より）

- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる
- 上記を活用して課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等を育む
- 主体的に学習に取り組む態度を養う

その際の配慮事項等として、次のことが挙げられています。

- 個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める
- 言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実させる
- 家庭との連携を図りながら、学習習慣が確立するよう配慮する

これらのことを実現していくことは容易なことではなく、また、ゴールといえるものもありません。ゴールできたと思っても、それは一つの通過点に過ぎません。すぐにまた次の段階、次のゴールが見えてくるのです。

ですから、私たちの研修には終わりがありません。私たち一人一人が追求（追い求める）し続けるのです。

今日（24日）は、二つの学級で体育と道徳の授業公開を行い、放課後に授業協議会を開きます。来週も、再来週も、そして、その次の週も校内授業研修の予定が入っています。

私たちは、子どもたちのために、子どもたちとともに、学び続けていきます。